

| | |
|------------------|------------|
| 講義名称 | 幼児と造形表現 |
| 開講責任部署 | 大学 |
| 講義区分 | 講義 |
| 基準単位数 | 2.0 |
| 科目群（区分） | 専門展開 |
| アクティブ・ラーニング実施の有無 | 実施有り |
| 開講時期 | 1年後期 |
| 必修・選択 | 必修 |
| 卒業認定・学位授与の方針との関連 | 子ども福祉学科（3） |

| 所属名称 | ナンバリングコード |
|----------------------|-----------|
| 金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科 | 24107260 |

担当教員

| 氏名 | 所属 |
|---------|----------------------|
| ◎ 永坂 晃子 | 大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科 |

| | |
|-------------|---|
| 授業概要 | 幼児の表現の姿や表現の発達及び発達を促す要因、さらに造形表現の意義について、体的に理解する。幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などを実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を習得する。 |
| 到達目標 | 幼児の表現の姿やその発達について学び、造形表現の基礎的な知識・技能を習得するとともに幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。 |

授業計画表

授業計画表

| | | |
|-----|---------------|--|
| 第1回 | 【授業計画】 | オリエンテーション：感じること、わかること 五領域「表現」関連授業全体における、本科目の位置づけについて 簡単な演習を通して、保育五領域としての「表現」の捉え方を理解する。 |
| | 【事前事後学修の内容】 | 前期保育・教職関連科目の理解と、授業への興味関心 授業シートの作成 |
| | 【事前事後学修時間（分）】 | 60 |
| 第2回 | 【授業計画】 | 「えのぐであそぶ」 保育の造形素材に触れてその特性を味わい、子どもの表現活動を体的に理解する。 造形活動の環境構成について学ぶ。 |
| | 【事前事後学修の内容】 | 指示された物品の準備、授業シートの作成 |
| | 【事前事後学修時間（分）】 | 60 |
| 第3回 | 【授業計画】 | 表現活動における子どもの姿 第1回、第2回の授業での体験を材料に、保育の活動における五領域の捉え方を理解する。 |
| | 【事前事後学修の内容】 | 授業シートの作成 |
| | 【事前事後学修時間（分）】 | 15 |
| 第4回 | 【授業計画】 | 「顔みつけ」 身近な環境の中で、触れ、見て、聴いて、感じる。 子どもの「みたて」について理解する。 |
| | 【事前事後学修の内容】 | 授業シートの作成 |
| | 【事前事後学修時間（分）】 | 60 |

| | | |
|------|---|---------------|
| 第5回 | 【授業計画】 | |
| | 「しんぶんしあそび」 身近な素材による様々な遊びを通して、触れ、見て、聴いて、感じる。 子どもの造形表現活動を体的に理解する。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 指示された物品の準備。授業シートの作成 | 60 |
| 第6回 | 【授業計画】 | |
| | 「みたてでつくる」 身近な素材に関わり、造形で表現する。 イメージすること、イメージを絵で表わすことを体的に理解し、子どもの表現を養うための活動の工夫について知る。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 指示された物品の準備。授業シートの作成 | 60 |
| 第7回 | 【授業計画】 | |
| | 「感覚あそび：小麦粉粘土、寒天あそび、片栗粉粘土」 触覚を十分に使う造形活動を体験し、より低年齢の子どもの造形表現活動について体的に理解する。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 指示された物品の準備、授業シートの作成、課題提出 | 60 |
| 第8回 | 【授業計画】 | |
| | 「油粘土であそぶ」 第7回授業の素材との比較から、年齢による表現の違いを学ぶ。 二人組の演習を通して、造形的な表現によるコミュニケーションと保育者の援助について学ぶ。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 授業シートの作成 | 60 |
| 第9回 | 【授業計画】 | |
| | 「ゆびえのぐであそぶ」 保育の造形素材に触れてその特性を味わい、子どもの造形表現を体的に理解する。 発達支援、家庭支援としての造形表現活動の有用性を知る。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 指示された物品の準備。授業シートの作成 | 60 |
| 第10回 | 【授業計画】 | |
| | 「クレヨン・パスであそぶ」 保育の造形素材に触れてその特性を味わい、様々な技法を体験する。 色や形からイメージすることを体的に理解する。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 指示された物品の準備。授業シートの作成 | 60 |
| 第11回 | 【授業計画】 | |
| | 子どもにとっての造形表現活動（発達に応じた活動（あそび）） 0歳～3歳ごろまでの造形表現の発達を、認知心理学的発達段階に照らして理解する。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 授業シートの作成 課題レポート作成 | 180 |
| 第12回 | 【授業計画】 | |
| | 保育者・保護者にとっての子どもの造形表現活動（ドキュメンテーション） | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 【事前事後学修時間（分）】 |
| | 授業課題のための材料・用具の準備。グループでの意見交換、授業シートの作成 | 60 |

| | | | |
|------|-------------|---|---------------------|
| 第13回 | 【授業計画】 | 子どもの造形表現を活かした壁面製作 (1) 「今・ここ」を生きる未満児の造形表現活動を保障し、かつ保護者への子育て支援となる壁面装飾のプランニングと製作。グループ活動。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 授業課題のための材料・用具の準備。グループでの意見交換。 | 【事前事後学修時間(分)】 90 |
| 第14回 | 【授業計画】 | 子どもの造形表現を活かした壁面製作 (2) 「今・ここ」を生きる未満児の造形表現活動を保障し、かつ保護者への子育て支援となる壁面装飾のプランニングと製作。グループ活動。 | |
| | 【事前事後学修の内容】 | 授業課題のための材料・用具の準備。グループでの意見交換、課題シート、ドキュメンテーションの作成 | 【事前事後学修時間(分)】 90 |
| 第15回 | 【授業計画】 | 子どもの造形表現を活かした壁面製作 (1) まとめ グループごとのプレゼンテーション、意見交換と講評。 「幼児と造形表現」授業のまとめ | |
| | 【事前事後学修の内容】 | ファイルの整理と提出 | 【事前事後学修時間(分)】 60 |

| | |
|---------------|--|
| 履修に必要な予備知識や技能 | これまで履修した保育・教職関連科目の理解。 子どもや人間に対する興味と愛情！向上心と学ぶ意欲！ |
| 課題に対するフィードバック | 課題レポートは添削の上、課題ごとに10段階、5段階等の評価を付し、返却する。授業シートなど提出物へのコメント。 |
| 評価方法・基準 | 課題レポートおよび他提出物70% 受講態度30% |
| 教科書 | 教科書：「保育をひらく造形表現」槇英子（明文書林） 参考書：「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型こども園 教育・保育要領解説」「保育所保育指針解説書」 |
| 備考 | 本科目は大学・学科行事や他の関連科目の進行、次年度の造形表現系科目の内容等を考慮し、より効果的な学びを優先して創造的に展開します。 また、本科目は自らのからだと心の実感を通して「子ども」と「表現」の理論理解に繋げることを意図するため、講義は演習を伴うものとなります。 |
| 実務経験の内容・期間 | 特別支援学校教諭（2年）、保育士（2年）、中学校教諭（1年）、美術造形活動講師（12年） |